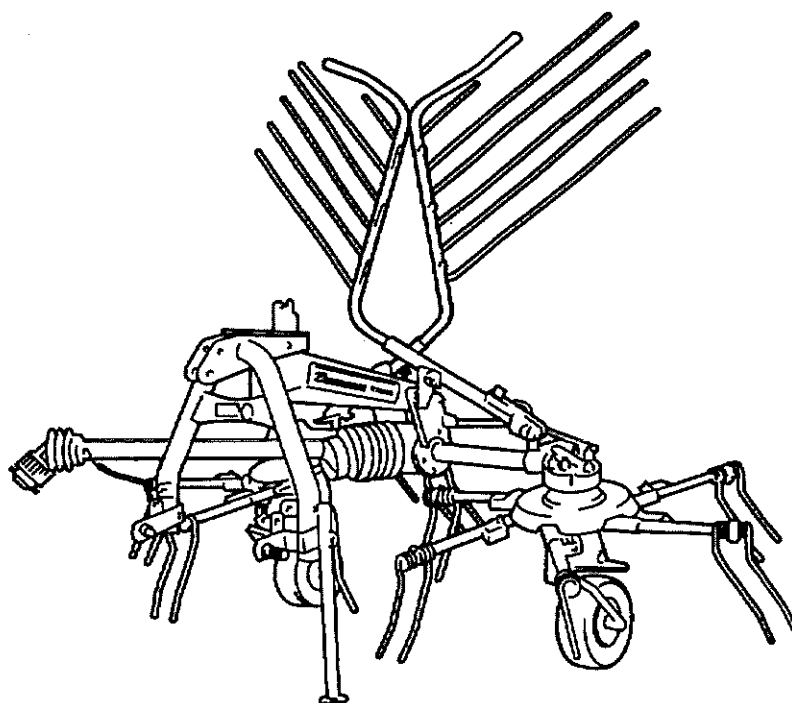


取扱説明書及び部品表

 **Takakita**

ローリテック

RT2610 ・ RT3110



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**ロータリテッド**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	6
各部の名称とはたらき	7
組 付 方 法	8
1. 梱包内容の確認	8
2. 工具の準備	8
3. 車輪の組付け	8
4. マストとメインフレームの組付け	8
5. スタンドの組付け	8
6. タインパイプ組付け	8
7. ミッションケースをギヤオイルにいれます	9
8. 集草枠の組付け	9
トラクタへの装着	10
1. 3点リンケージへの装着のしかた	10
2. ユニバーサルジョイントの取付け	10
運転に必要な装着の取扱い	12
1. オフセットレバーの取扱い	12
2. タイヤの取扱い	12
3. タインの取扱い	13
4. 集草枠の取扱い	13
5. ガードの取扱い	13
6. タインパイプの取扱い	13
作 業 方 法	14
1. 作業手順と要点	14
2. 移動するときは	15
3. 拡散・反転・集草列拡散作業	15
4. 集草・集草列移動作業	16
5. 畦際作業	18
6. 傾斜地での作業	19
作業前の点検について	20
1. 点検一覧表	20
簡単な手入れと処置	21
1. ボルトの増締め	21
2. タイヤの点検・修理	21
3. 各部への注油・グリスアップ	21
4. 長期格納時での作業	22
不 調 診 断	23
付 表	24
1. 主要諸元	24
2. 主な消耗部品	24

安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある▲表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

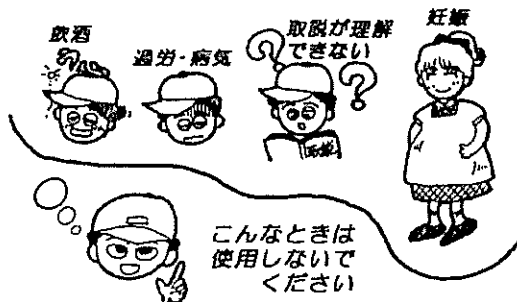
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

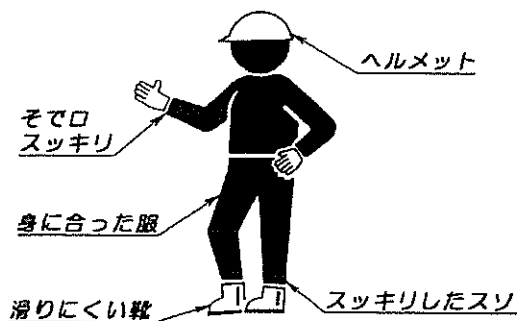
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



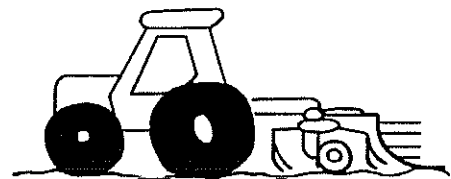
(3) 適応トラクタ以外への装着厳禁

下記の装着条件に合致するトラクタ以外には装着しないでください。

● 適応トラクタ馬力

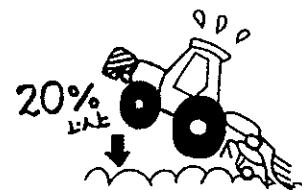
型 式	適用馬力 kW (ps)	装 着 方 法
RT2610	14.7～33.1 (20～45)	3点リンク直装式 (カテゴリⅠ兼用)
RT3110	22.1～36.8 (30～50)	3点リンク直装式 (カテゴリⅠ・Ⅱ兼用)

● PTO回転速度：540 min⁻¹(rpm)



(4) 装着時の前後のバランス確認

3点リンケージに装着して持ち上げたときに、総重量の20%以上の荷重が前輪に作用していることが必要です。もし、不足するときはトラクタ指定のフロントウェイトを取付けて、20%以上を確保するか、できなければ装着しないでください。



⚠ 安全に作業するために

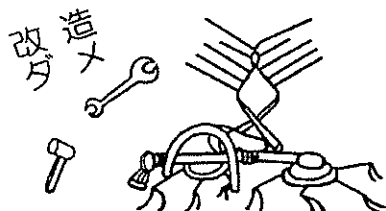
(5) バランスウエイトの取付け

トラクタのバランスウエイトは指定された部分に指定されたウエイト以外は取付けないでください。

(6) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

また、改造をしないでください。



(7) 使用目的以外への使用禁止

本機は稲ワラ、牧草、麦稈の反転、拡散集草作業を目的として作られた機械です。

他の目的には使用しないでください。

(8) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



2. 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。

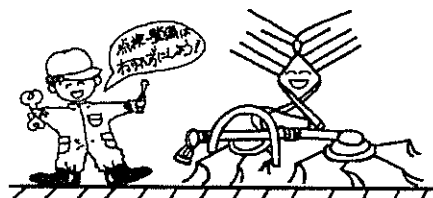


(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所でPTOを切り、トラクタのエンジンを停止させ、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 機械を常にきれいに

火災予防と性能維持のため、回転部への草などの巻付きやたまりを取除き、機械を常にきれいに維持してください。



(5) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。

エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。

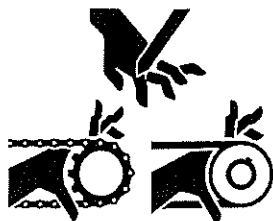


⚠ 安全に作業するために

(6) カバー類を必ず取付ける

カバー類などの防護装置を取外すときは、必ずP T Oを切り、エンジンを止めてから行ってください。

また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(7) 注油・給油するときは

P T Oを切り、エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。



(8) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。



3. 作業・移動をするときは

(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

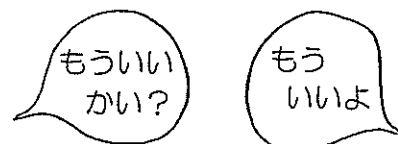


(2) P T O回転中は危険です

回転部には近寄らない、触らないを守ってください。

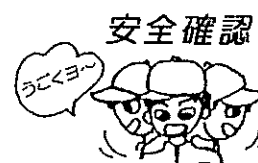
(3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(4) エンジンを始動するときは

P T Oを切り、変速レバーを中立にし周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(5) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

(6) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

①斜面の等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。

斜面の作業は、必ず等高線に直角方向に走行してください。

②傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。高速で旋回すると、転倒する危険があります。

⚠ 安全に作業するために

(7) 回転中のユニバーサルジョイントには触れない

回転しているユニバーサルジョイントに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。



(8) 回転中のロータには触れない

回転しているロータに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ傷害を負うことがあります。

(9) 作業姿勢での移動禁止

作業姿勢のまま移動しますと、物損事故や人に重大な傷害を与える恐れがあります。移動する場合は、メインフレームをロックし、タインパイプを格納するとともに安全ガードの幅を狭めてください。また、集草枠は上に上げておいてください。

(10) 移動及び作業の旋回のときは

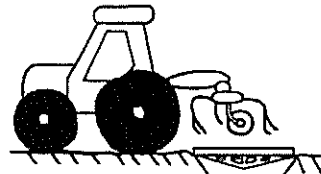
トラクタに本機を装着しての移動やほ場での旋回は、必ず3点リンケージでリフトアップしてから行ってください。急旋回は危険ですので行わないでください。

(11) スタンドを移動位置にする

移動するときは必ずスタンドを上げて走行してください。

(12) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



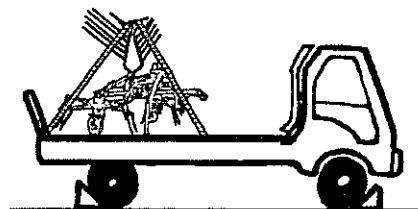
(13) 作業途中で運転席より離れるときは 平坦な場所に降し、PTOを切り、エンジンを止め、駐車ブレーキを掛けてください。

4. 道路走行・輸送するときは

(1) トラクタに装着しての道路走行禁止

トラクタに本機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。トラクタに装着しての走行はしないでください。

(2) トラックなどへの積込み・積降ろしは 平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ、車止めをしてください。 積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。

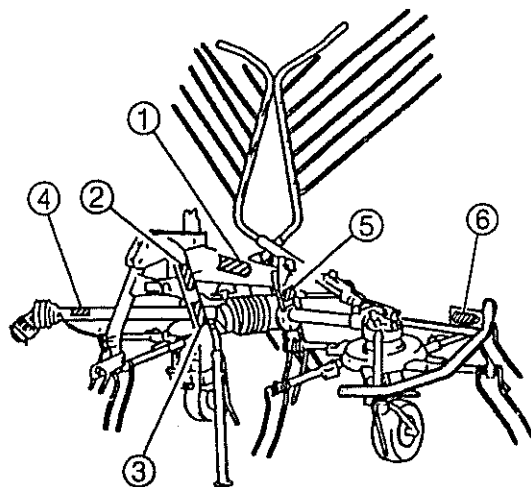


以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 001204500042

001204500042

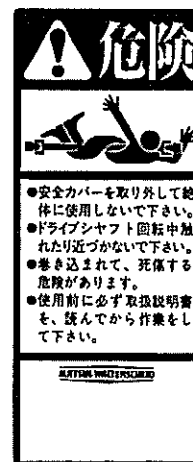
⚠ 注意

1. 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書を熟知するまでお読みください。 2. 全部のラベルが所定部分に貼付けられているようにしてください。 3. エンジン始動前に機体の周りに人がいないことを確認してください。 4. 作業中は人や動物を近づけないでください。 5. 運転席を離れるときは、必ず	エンジン停止し、駐車ブレーキをかけてください。 6. 斜面での駐車時は歯止めをしてください。 7. 点検・調整等はエンジンを止めて実施してください。 8. 手、足及び衣服を運動部分に近づけないようにしてください。 9. 公道走行はできません。トラック等で運送してください。
---	---

②部品コード 001206000650

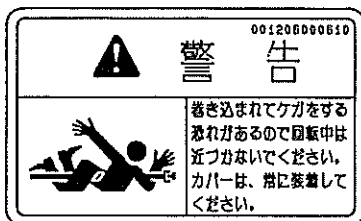
③部品コード 001206000580

④部品コード 001306951010



⑤部品コード 001206000610

⑥部品コード 001104100010



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈の反転、拡散集草作業にご使用ください。

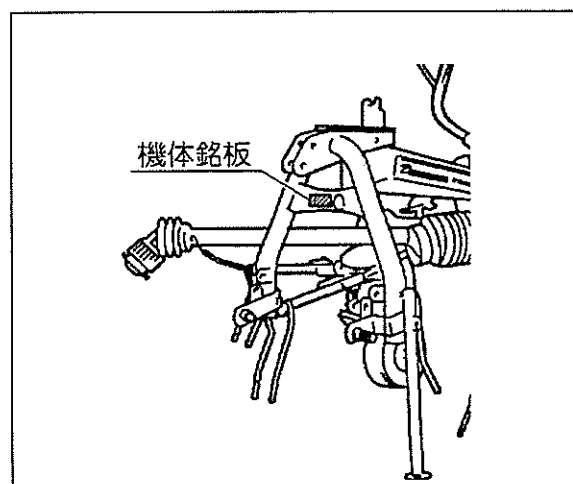
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

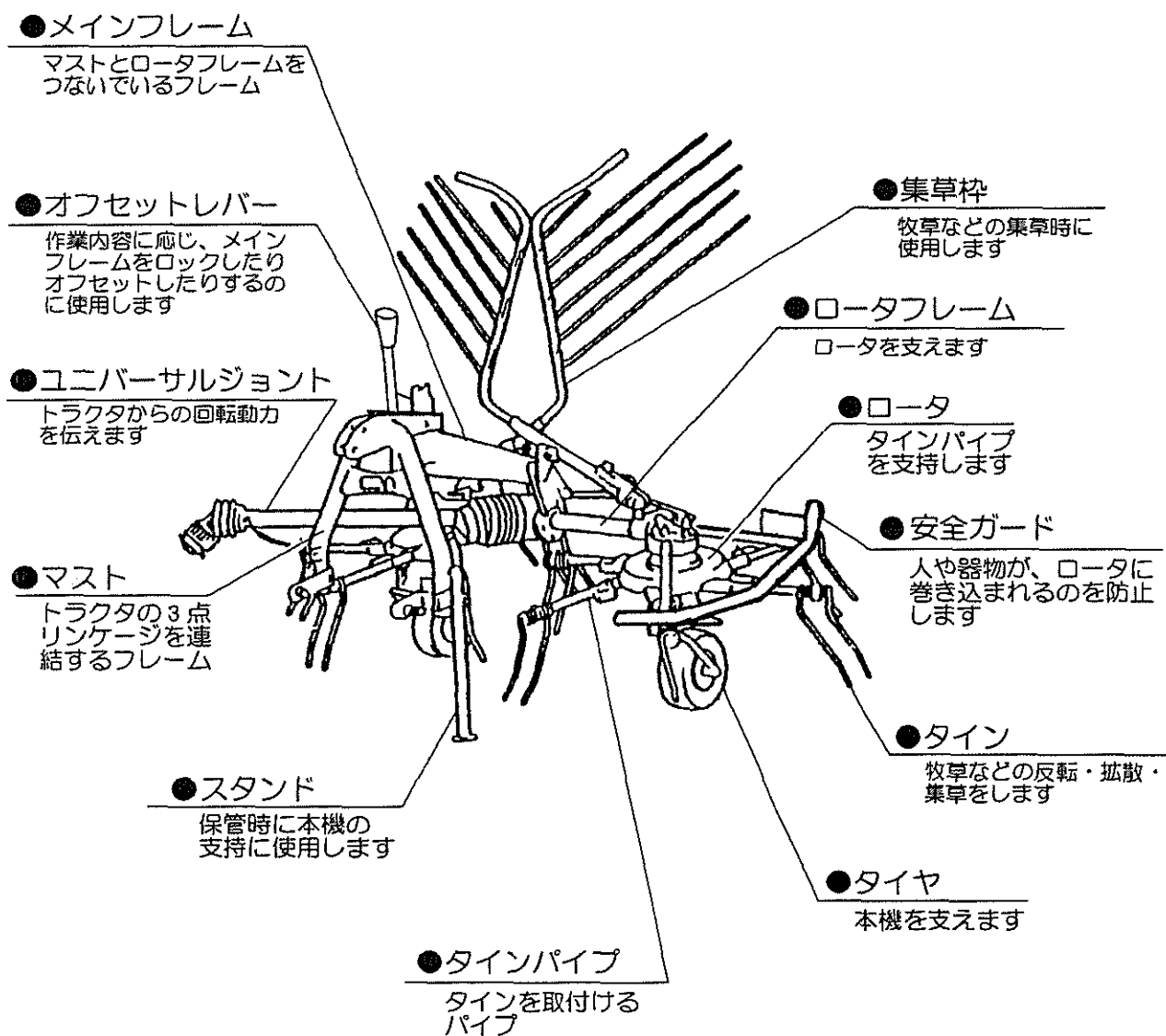
- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No.)
- ご使用状況は？
(どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用后)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

品 名	ロータリテッダ		
型 式	RT2610	RT3110	
機 体 No. (SER-No.)			
購入年月日	年	月	日
販売店名	TEL : ()		

各部の名称とはたらき



組 付 方 法

1. 梱包内容の確認

機体は、下記内容に分類して梱包しています。

梱包は開けたとき、確認してください。

	RT2610	RT3110
3Pマスト	1個	1個
ロータフレーム	1個	1個
タインパイプ	左右各6個	左右各8個
集草レーキ	左右各1個	左右各1個
車輪	左右各1個	左右各1個
スタンド	1個	1個
ユニバーサルジョイント	1個	1個
ビニール袋入部品	1袋	1袋

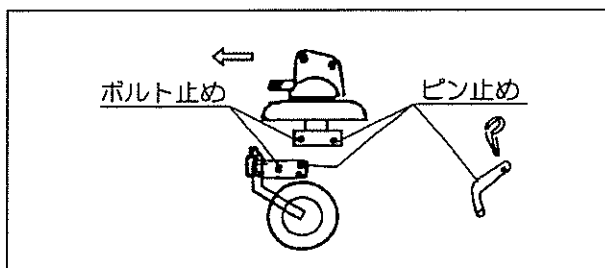
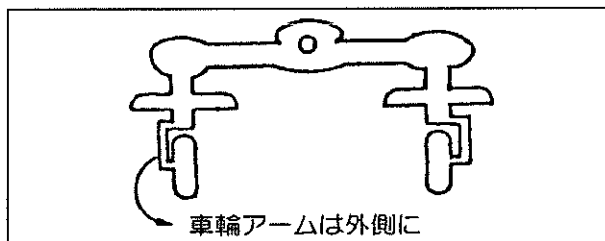
2. 工具の準備

組付時に次の工具を準備してください。

- 24mmスパナ（またはメガネボックスレンチ）
- 19mmスパナ（またはメガネボックスレンチ）

3. 車輪の組付け

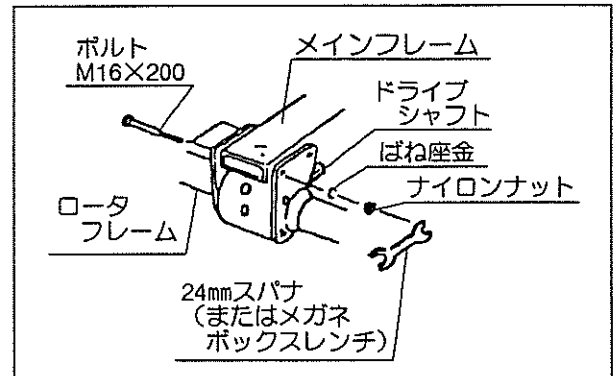
車輪を組付ける場合、下図のようにアームは外側に組付けてください。



上図のように支点部はボルト締め及び調節穴部はピン止めで固定してください。

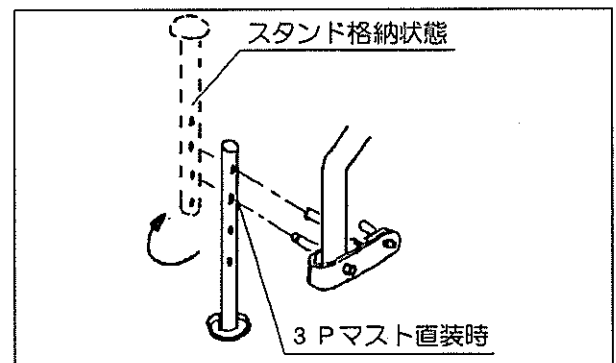
4. ロータフレームとメインフレームの組付け

ロータフレームとメインフレームをボルトとナイロンナットで組付けします。



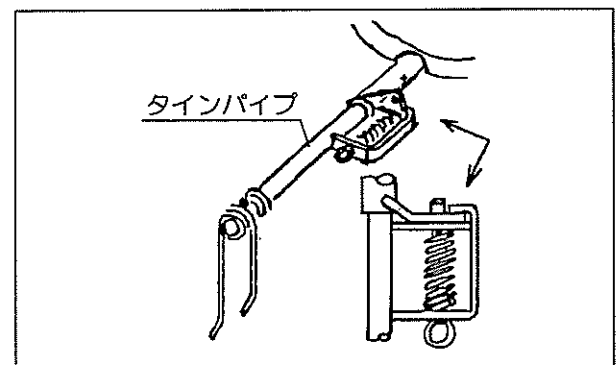
5. スタンドの取付け

マストにスタンドを取付けます。



6. タインパイプ取付け

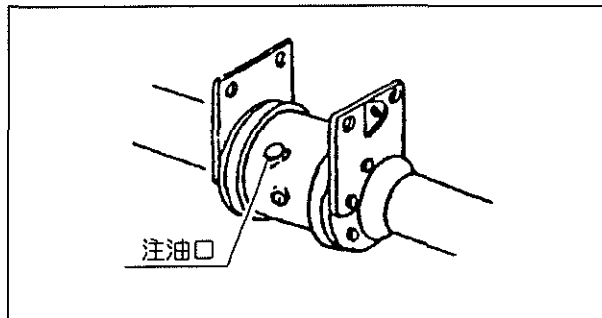
左右のロータにタインパイプを組付けてください。



組 付 方 法

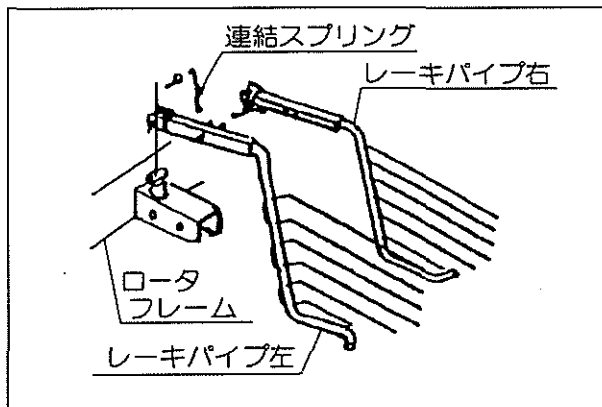
7. ミッションケースにギヤオイルを入れます

ギヤオイル（SAE 90）をミッションケースに0.8ℓ入れます。



8. 集草枠の組付け

ロータフレームに集草枠（レーキパイプ 左右）を組付け、連結スプリングをミッション両側のピンとレーキパイプのピンに連結してください。



トラクタへの装着

警告

- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを止め、PTOを切ってから確実に取付けてください。

以上のことを守らないと傷害発生の恐れがあります。

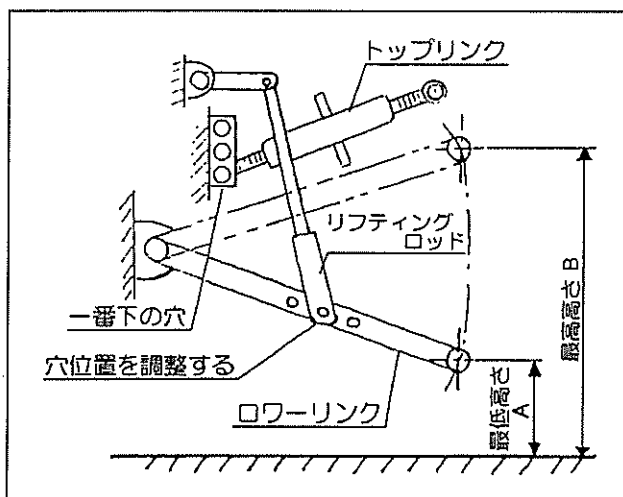
1. 3点リンケージへの装着のしかた

◆3点リンケージの調整

トップリンクのトラクタ取付位置は、トップリンクが最も角度がつくように一番下の穴としてください。

次にリフティングロッドを調整して、ロワーリンクの最低高さ、最高高さを下表のように調整してください。

ロワーリンク 高さ	最低高さA	36 cm以下
	最高高さB	74 cm以上

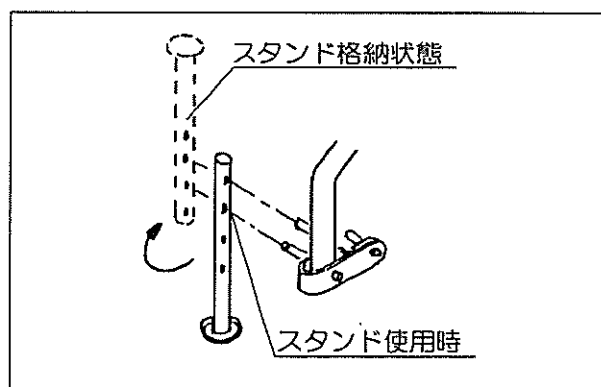


◆3点リンケージの装着順序

左ロワーリンク、右のロワーリンク、トップリンクの順序で取付けてください。

◆スタンドを格納してください。

3点リンケージの取付けが終われば下図のようにスタンドを格納してください。



◆トップリンクの長さ調整

トラクタロワーリンクを一番下げた状態で本機最前部のタイヤ先端と地面の隙間が約2 cmになるように調整してください。

(詳細は15頁を参照してください。)

◆チェックチェーンで横振れ調整

運搬時および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心にロワーリンクが左右に2～3 cm程度の振れになるように調整してください。

2. ユニバーサルジョイントの取付け

◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

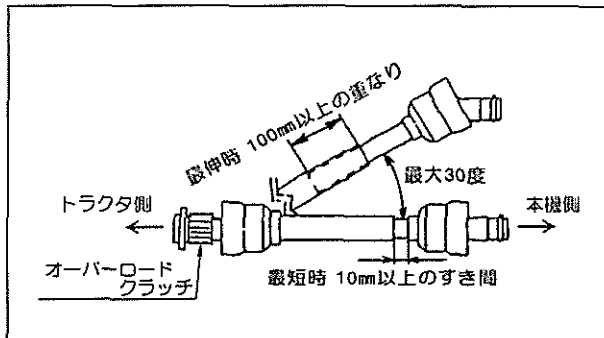
本機入力軸に取付けてから、トラクタPTO軸に確実に取付けてください。

トラクタへの装着

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは、3点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。先に、ジョイント長さが長すぎないかを確認してください。

長すぎるときは、下図の寸法が確保できるように切断してください。



注意

また、作業時のジョイント角度は最大30度を超えないよう調整をしてください。

30度を超えるとジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定を

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけて、しっかりと固定してください。

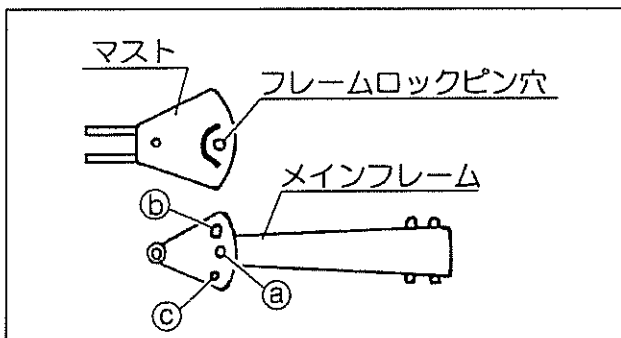
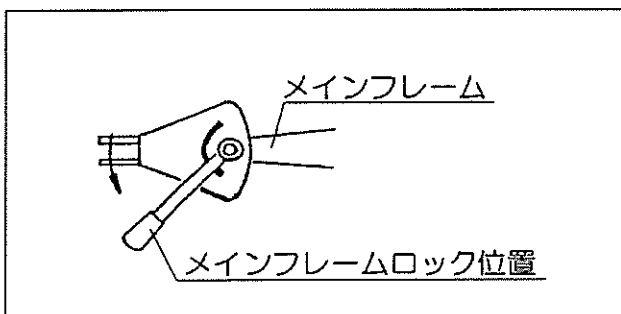
運転に必要な装置の取扱い

1. オフセットレバーの取扱い

- 作業または運搬時に、このレバー操作によりメインフレームをフリーにしたり、ロックしたりします。
- この作業は、本機を持ち上げてから行います。

◆運搬時の位置

運搬時はメインフレームが動かないようにロックします。ロック位置は㊸あるいは㊹の穴としてください。



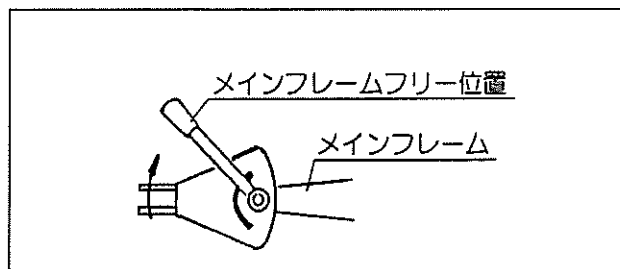
警告

移動時は必ずメインフレームをロックしてください。

守らないと機体が急に左右に振れ、トラクタのハンドルがとられる恐れがあり危険です。

◆拡散・反転・集草作業時の位置

作業時はメインフレームがフリーに動く状態にします。



注意

作業時、ロックは必ず解除してください。ロックしたまま作業されますと、旋回時などにタイヤに無理がかかり、足まわりが破損する恐れがあります。

また、マストやフレームにも損傷が及ぶ恐れがあります。

2. タイヤの取扱い

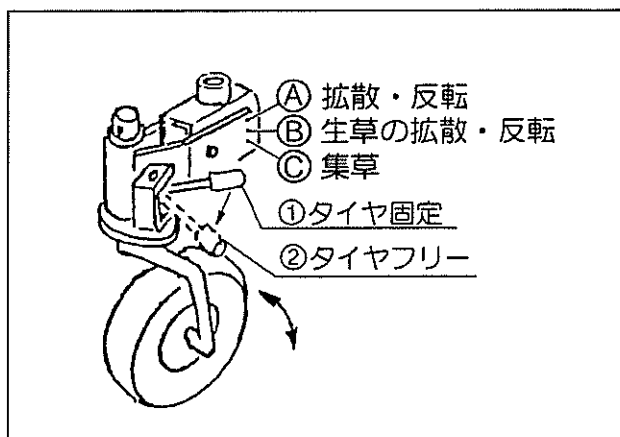
◆拡散・反転作業時

タイヤの高さを㊸または㊹の位置で固定し、タイヤは固定にします。

㊸は牧草等がある程度乾燥してから使用し、㊹は生草の時に使用します。

◆集草作業時

タイヤの高さを㊸の位置で固定し、タイヤは固定にします。



運転に必要な装置の取扱い

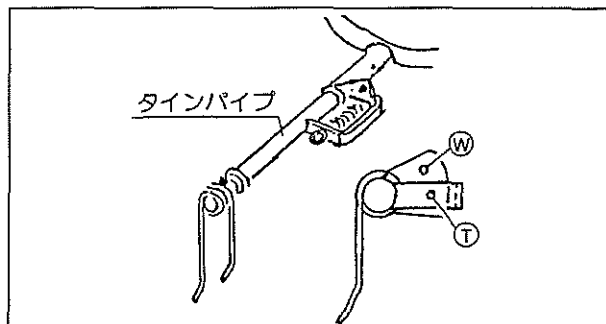
3. タインの取扱い

◆拡散・反転作業時

下図①の位置で固定します。

◆集草作業時

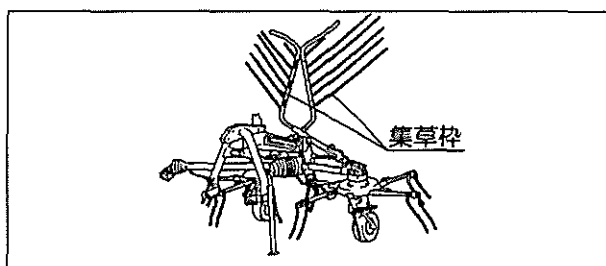
下図②の位置で固定します。



4. 集草枠の取扱い

◆運搬・拡散・反転時の位置

下図のように集草枠を上げてください。



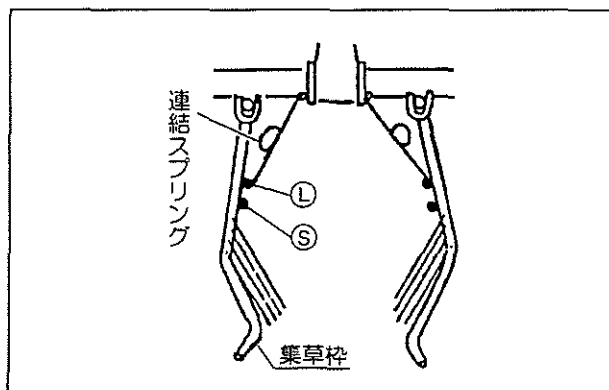
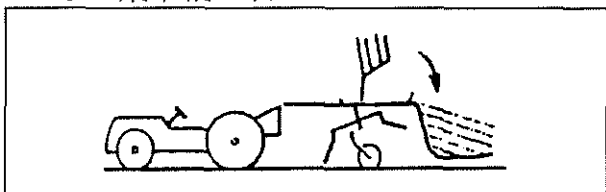
◆集草時の位置

下図のように下げてください。

集草幅の調整は2種類です。

⑤：集草幅 約70cm

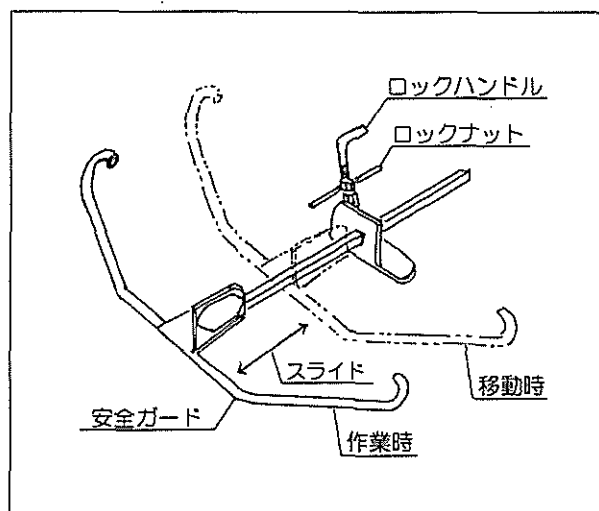
⑥：集草幅 約95cm



5. 安全ガードの取扱い

◆移動時・作業時の位置

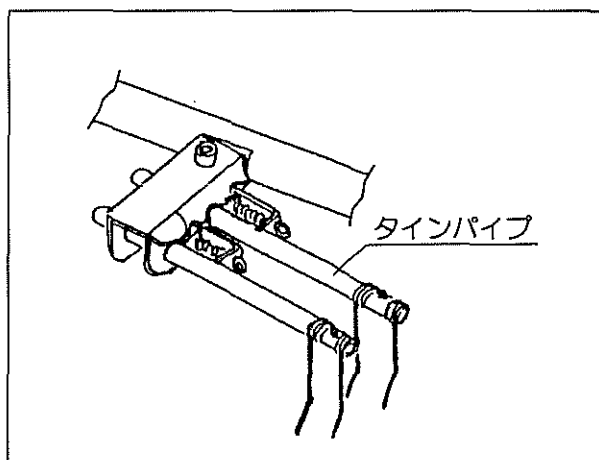
下図のように移動時と作業時で調整してください。



6. タインパイプの取扱い

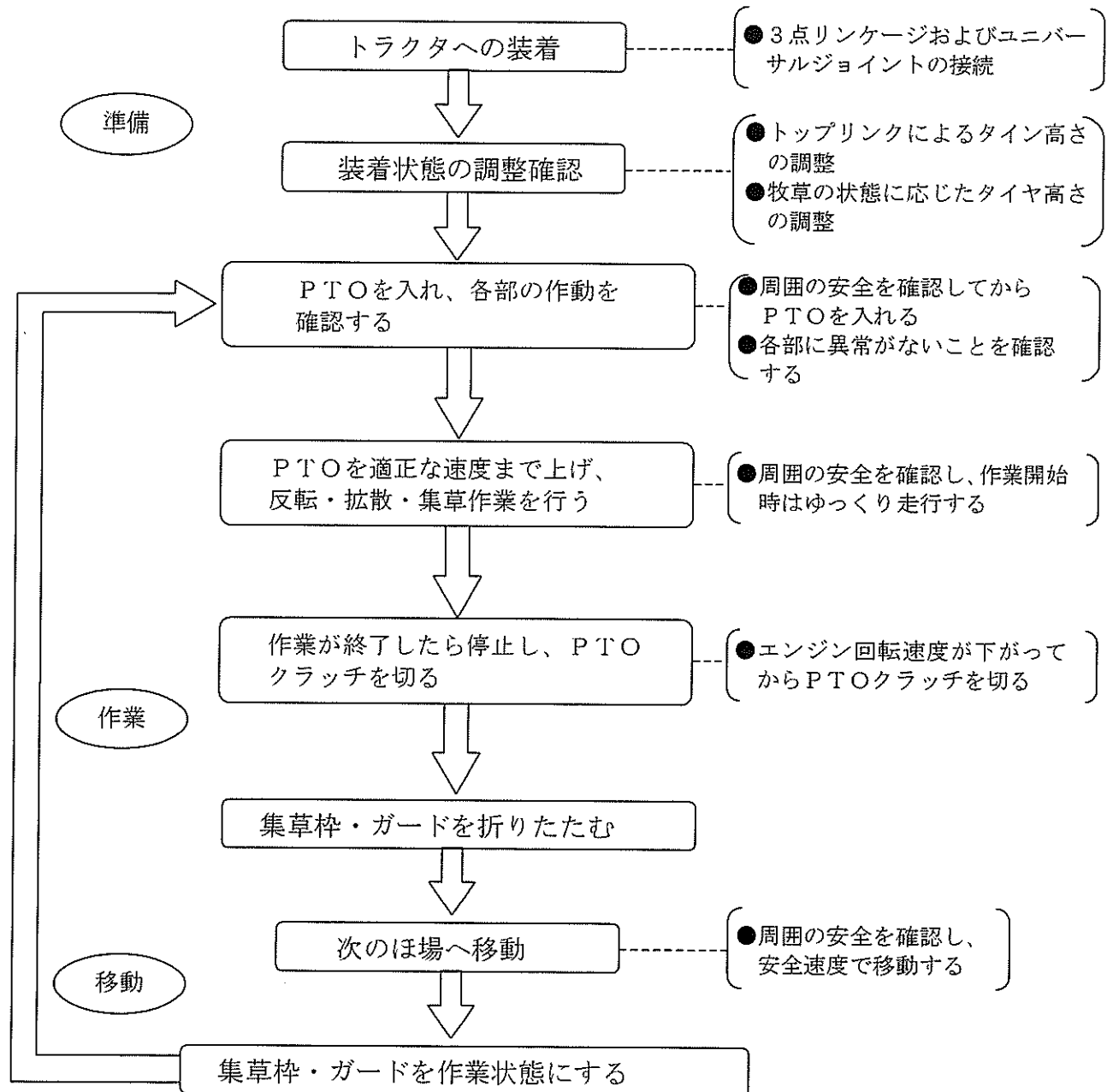
運搬時は左右のロータのタインパイプを各2本ずつ取外し作業機の幅を狭めてください。

格納は、下図の位置にしてください。



作業方法

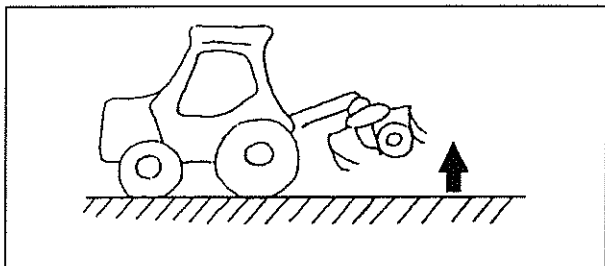
1. 作業手順と要点



作業方法

2. 移動するときは

移動するときは、必ず集草枠および安全ガードを収納し、外側のティンパイプを格納するとともに、メインフレームをロックしてから、十分な高さまで3点リンケージで吊り上げて走行してください。



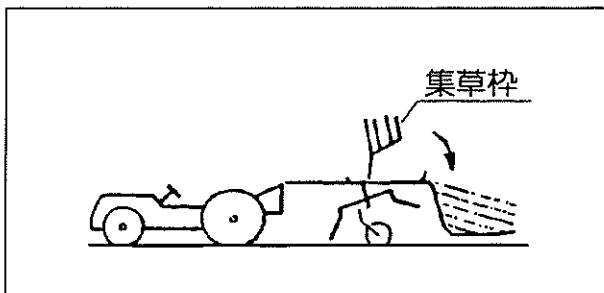
警告

- ①移動するときは、必ず集草枠および安全ガードを収納し、外側のティンパイプを格納するとともに、メインフレームをロックしてください。
- ②本機を装着しての運転は、まわりの条件に適した速度で行ってください。絶対に急発進・急ブレーキ・急ハンドルは行わないでください。
- ③カーブを曲がる時は、重心の変化や機械の幅に十分注意してください。
作業姿勢のまま移動されますと、人に重大な障害を加えたり、物損事故を起こす恐れがあります。

3. 拡散・反転・集草列拡散作業

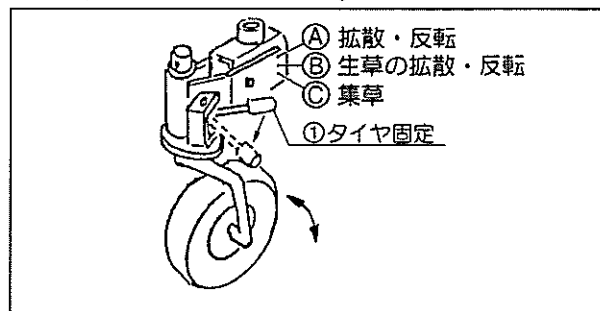
◆調整方法

- ①集草枠を上方に持ち上げるか、または取り外してください。

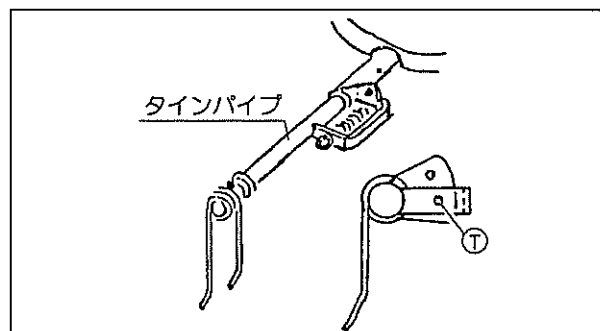


- ②車輪の高さを④または⑥位置にピンで固定してください。

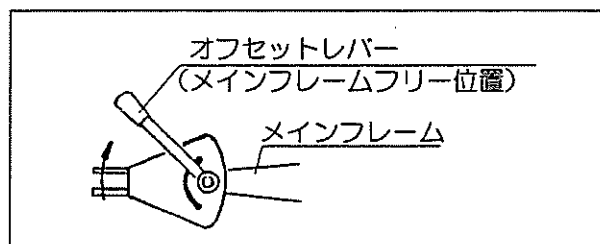
レバーを①の位置に移動させ、タイヤを固定してください。



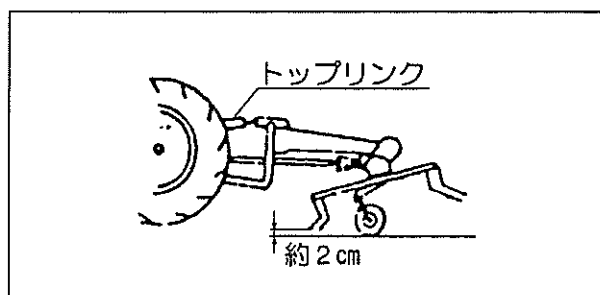
- ③ティンパイプのセットピンを①位置で固定してください。



- ④オフセットレバーを下図の位置にして、メインフレームをフリーにしてください。



- ⑤トラクタの油圧をフリーにした状態で、本機最前部のティン先端と地面の隙間が約2cmになるようにトップリンク長さを調整してください。



作業方法

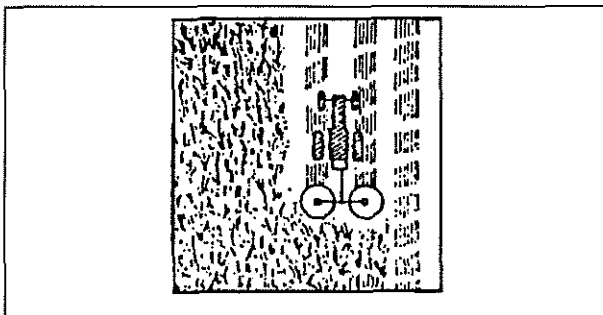
注意

タインを下げすぎますと土や石をかき、タインの不必要な摩耗や破損の原因となります。

◆作業の種類

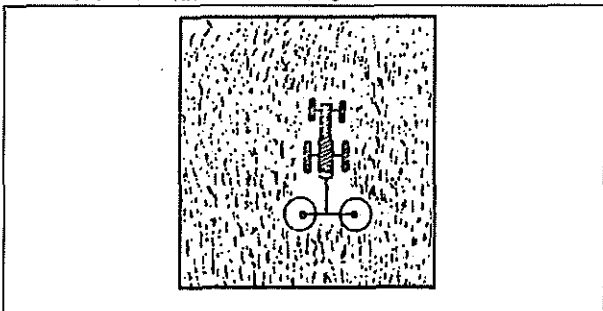
①拡散作業

モアで刈取った牧草を散らし、乾燥を促進します。



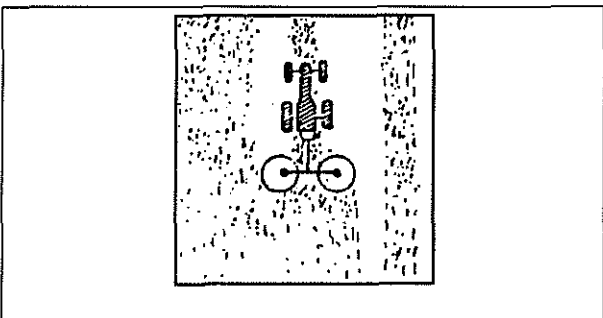
②反転作業

地干しされた牧草の上下をひっくり返し、乾燥を早めます。日に2～3回行いますと日光や風の通りがよくなり、乾燥時間が短縮されます。



③集草列拡散

降雨や湿気防止などのために集草列にしたものを散らし、乾燥を早めます。



◆作業速度とPTO回転速度

作業速度とPTO回転速度は、牧草の水分・密度・長さ・ほ場状態によって異なります。

標準は、作業速度：8～10km/時

PTO回転速度：450～500min⁻¹(rpm)

注意

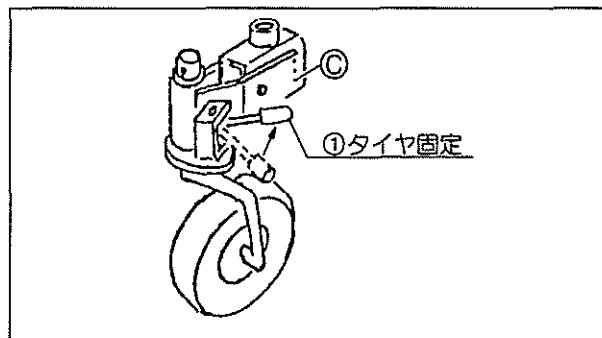
ユニバーサルジョイントのオーバーロードクラッチが滑るとき（草量が多い、草が重いなどによる）は、滑りが止まるまで車速を下げてください。

4. 集草・集草列移動作業

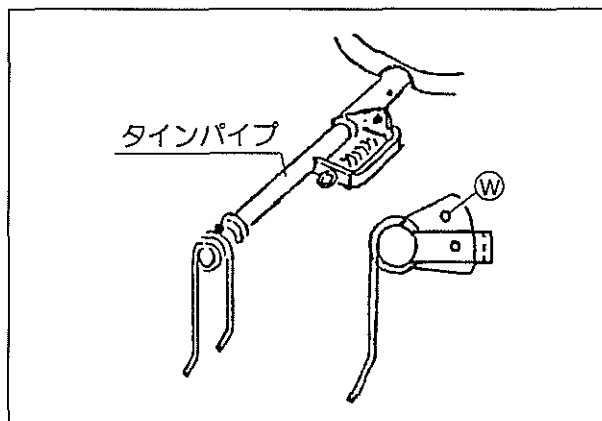
◆調整方法

①車輪の高さをC位置にピンで固定してください。

レバーを①位置に移動させタイヤを固定してください。

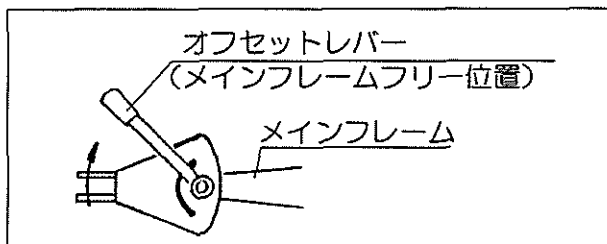


②タインパイプのセットピンがW位置で固定してください。

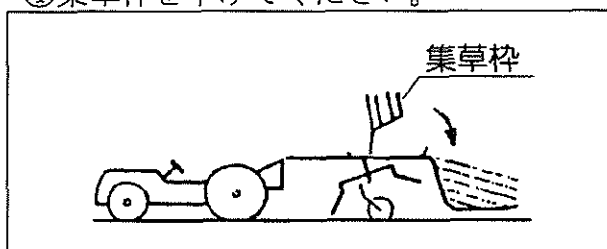


作業方法

- ③ オフセットレバーを下図の位置にして、メインフレームをフリーにしてください。



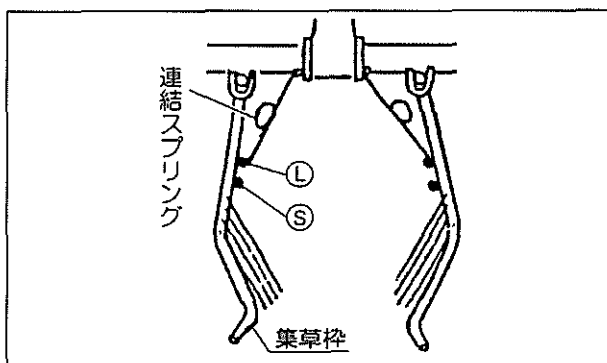
- ④ 集草枠を下げてください。



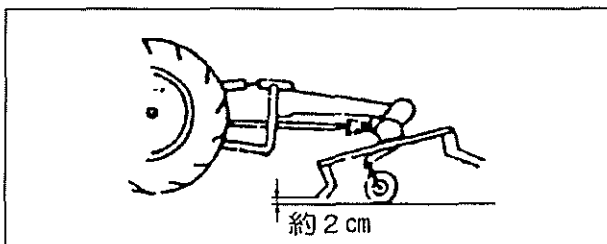
- ⑤ 集草幅の調整を行ってください。

⑨ 集草幅 約 70 cm

⑩ 集草幅 約 95 cm



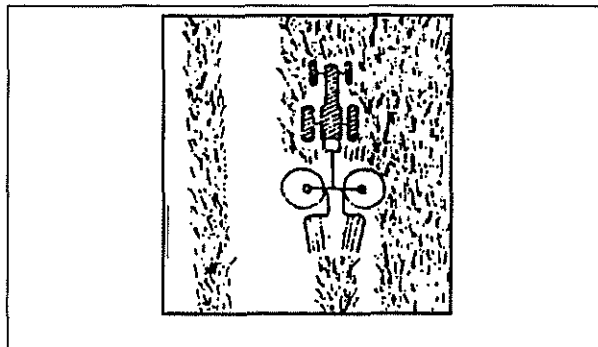
- ⑥ トラクタの油圧をフリーにした状態で、本機最前部のタイン先端と地面の隙間が約 2 cm になるようにトップリンク長さを調整してください。



◆作業の種類

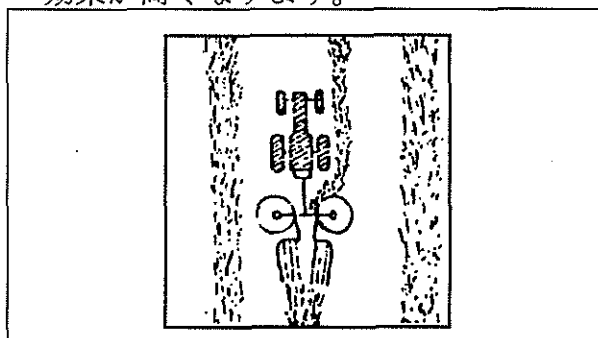
① 集草作業

拡散、または反転した牧草を列状に集草します。集草された牧草は縄状にならず、ふんわりとしているため、ベアラやロードワゴン等による、後作業がしやすくなります。



② 集草列移動作業

集草列を移動しますと乾いた土地の上に牧草を置くことになり、また集草列の上下が入れ替わりますので、牧草の乾燥効果が高くなります。



◆作業速度とPTO回転速度

作業速度をPTO回転速度は牧草の水分・密度・長さ・ほ場状態によって異なります。

標準は、作業速度：5～7 km/時

PTO回転速度：300～350 min⁻¹(rpm)

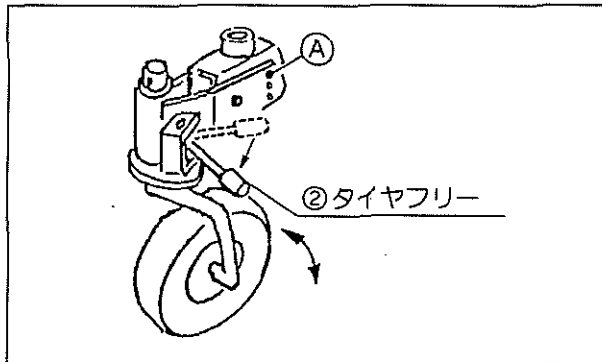
作業方法

5. 畦際での拡散反転作業

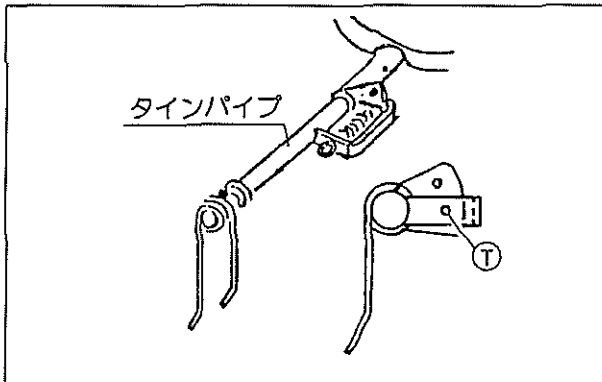
◆調整方法

①車輪の高さを④位置にピンで固定してください。

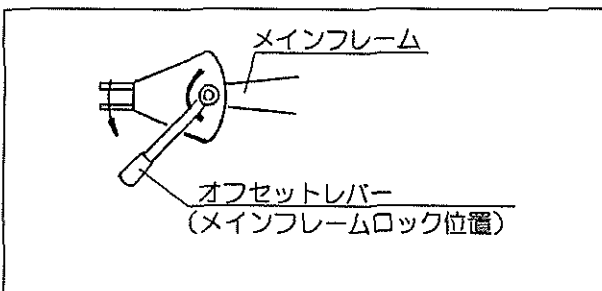
レバーを②位置に移動させ、タイヤをフリーにしてください。



②タインパイプのセットピンを①位置で固定してください。



③オフセットレバーを下図の位置にして、メインフレームをロックしてください。

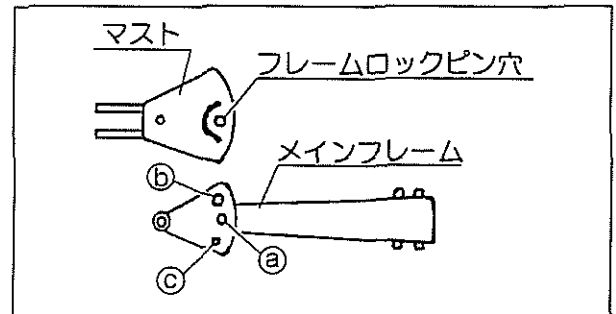


●フレームのロック位置は

左際作業時 ⑥穴

右際作業時 ⑦穴

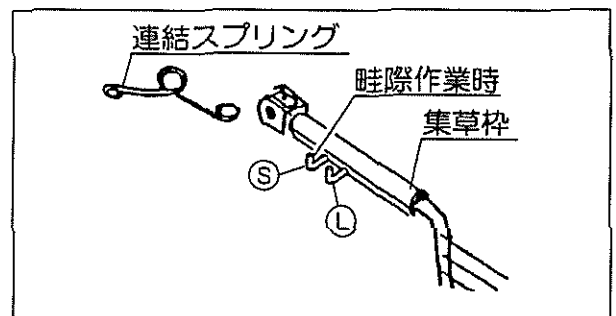
を使用してください。(下図参照)



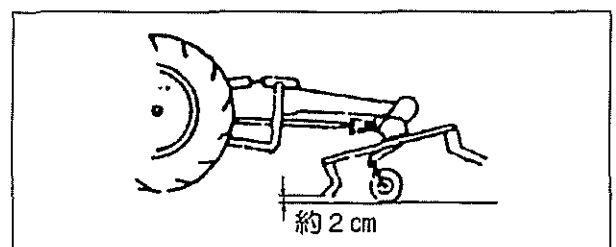
④集草枠を降ろしてください。

畦作業の場合、集草枠の片側を使用することによりその効果が増大します。

下図のピン⑤に連結スプリングをセットしてください。



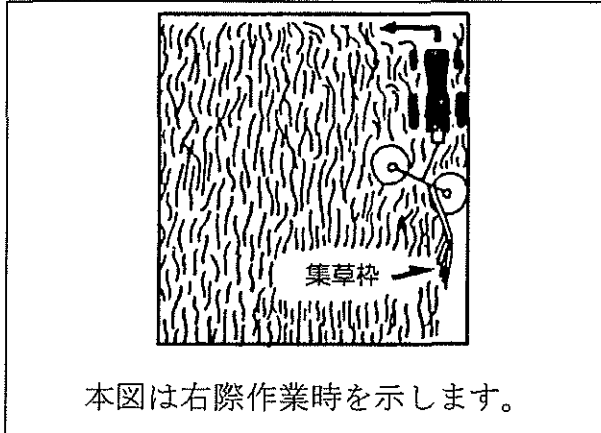
⑤トラクタの油圧をフリーにした状態で本機最前部のタイン先端と地面の隙間が約2cmになるように、トップリンク長さを調整してください。



作業方法

◆畦際作業

ほ場の外周、または枕地の拡散・反転作業を行う場合、本機をオフセットすることで、ほ場外へ牧草の飛散を防ぎます。
(集草枠側使用により効果が増大)



◆作業速度とPTO回転速度

ほ場内に牧草を寄せるときは車速、PTO回転速度を低速にしてください。

⚠ 警告

- ①作業中は、まわりに人や動物を近づけないでください。
石などがティンで飛ばされ、人に当たる恐れがあり、大変危険です。
- ②PTO回転中は、ロータには近づかないでください。
触れると巻き込まれる恐れがあり、大変危険です。
これらを守らないと、死亡あるいは重大な傷害発生の恐れがあります。

6. 傾斜地での作業

傾斜地において、拡散・反転作業あるいは集草作業時、作業機が谷側に流れる場合はメインフレームを固定し、タイヤをフリーとして作業してください。

◆必ず、直角走行・急ハンドル禁止

斜面に対して直角方向に走行し、旋回は速度を落として急ハンドルを切らないで旋回してください。

⚠ 警告

斜面の等高線に平行、または斜め走行や急旋回は横転の危険がありますので決して行わないでください。

作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。
作業前の点検は、欠かさず行ってください。

警 告

- 取外したカバー類は必ず取付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
- 点検・整備をするときはP T Oを切り、エンジンを停止させ、回転部が止まってから行ってください。

点検一覧表

No.	項 目	内 容	参照ページ	チェック
1	ユニバーサルジョイント	取付けが完全か	1 0	
2	各部のボルト・ナット	緩み、ガタつきがないか	2 1	
3	機体の姿勢	正しい姿勢になっているか	1 5 ・ 1 7 ・ 1 8	
4	タイン	欠損がないか	—	
5	タイヤ	空気圧は適正か	2 1	
6	各部への注油・グリスアップ	各部へのグリスアップは十分か	2 1	

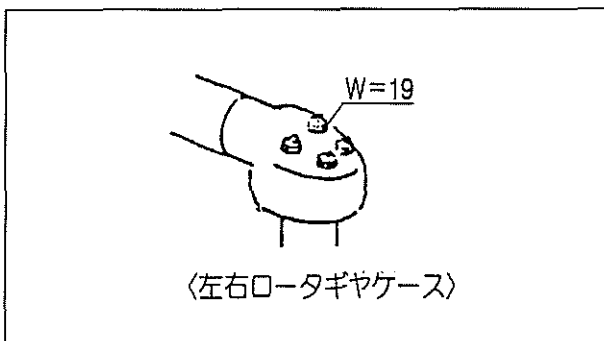
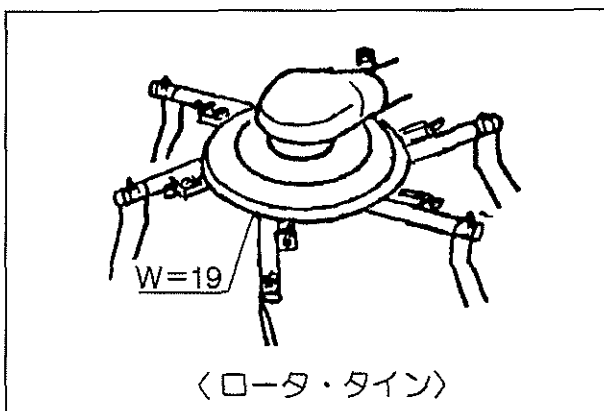
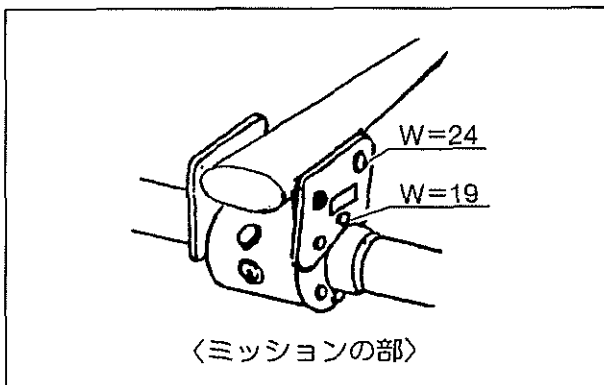
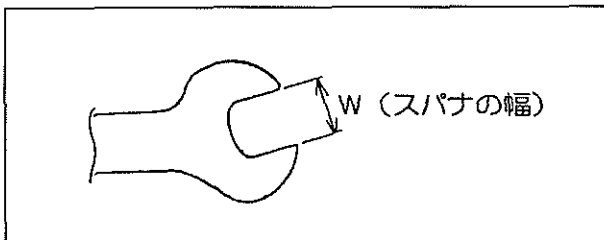
点 検 メ モ

簡単な手入れと処置

⚠ 警告

- ①各部の調整をするときは、P T Oを切り、エンジンを停止させて回転部が完全に止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類には必ず取付けてください。

1. ボルト増締め



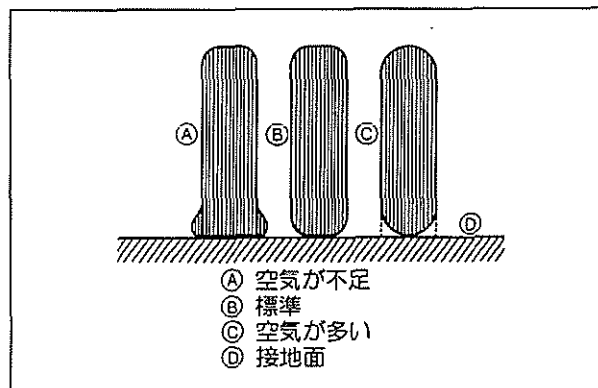
2. タイヤの空気圧の調節、及び摩耗、損傷

- ◆作業前にはタイヤの空気圧を確認してください

⚠ 警告

- タイヤの空気圧は取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。空気の入れ過ぎは、タイヤ破損の恐れがあり、死傷事故を引き起こす原因になります。
- タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。タイヤ破損の恐れがあります。
- タイヤ・チューブ・ホイールなどに関する交換・修理などは、十分な整備施設をもち、特別教育を受けた人がいるタイヤショップ等の専門店で依頼してください。

外観からタイヤの空気圧を判断する目安は次の通りです。



- ◆本機に装着しているタイヤのサイズと規定空気圧

タイヤサイズ

13×6.00-6-4PR

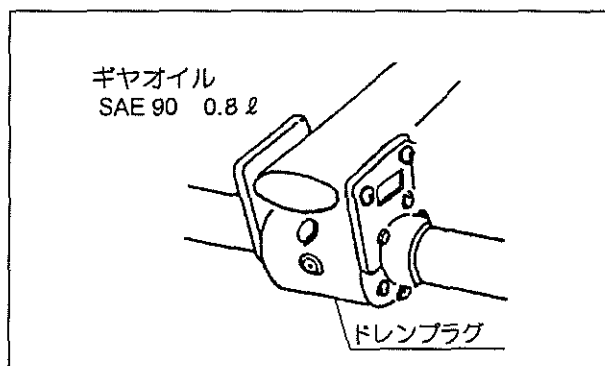
空気圧

2.2kg/cm²以下

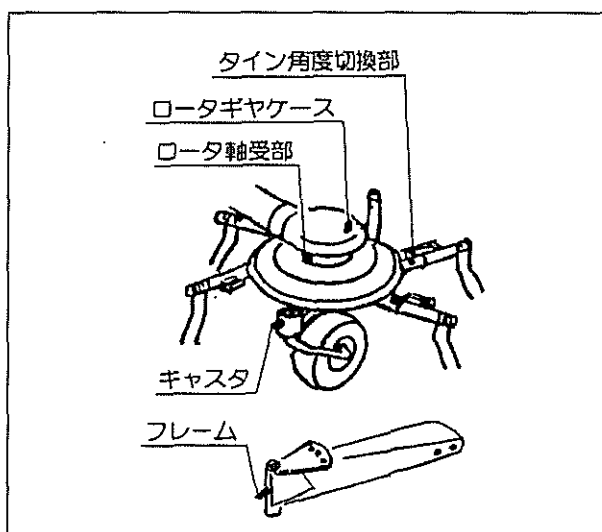
簡単な手入れと処置

3. 各部への注油・グリスアップ

- ミッションケースのオイルは、100時間ごとに全量を交換してください。



- グリスアップは左右のロータの図示された部分19ヶ所とユニバーサルジョイント2ヶ所の合計21ヶ所に注入してください。



4. 長期格納時の手入れ

作業が終了したら、次期の使用時に備えかつ、末長くご利用いただくためにも十分な手入れを行ってください。

- 水洗いをして付着した泥やほこりなどを落とし、巻き付いた草などを取除いてください。
- 乾燥後は、各回転部、摺動部には十分注油し、錆びないようにしてください。

- 塗装のはがれた部分には、補修塗料を塗り、錆が出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいる時は締めて下さい。
- 各部の点検を行い、不調部は部品交換や修理を済ませておいてください。
- 格納する場所は、雨やほこりのかからない屋内に保管してください。
- 格納は平坦な所で保管してください。

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ページ
●ユニバーサルジョイントのクラッチが頻繁に作動する	●草量が多い、あるいは草が重い	●車速を下げる	16
●ロータが地面の凹凸に追従しない	●メインフレームがロックされている	●作業中はメインフレームのロックを解除し、フリーにする	12 15 17
●反転・拡散時、草の飛びが悪い	●草量が多い	●車速を下げる	16
	●PTO回転速度が低い	●回転を上げる ※ただし、乾燥が進んでいるときは損失が増えるため400～500min ⁻¹ (rpm)までとする	16
	●タイヤおよびトップリンクの調整が適正でない	●タイヤおよびトップリンクの調整を反転・拡散時に合わせる	12 18
●集草状態がよくない	●PTOと車速があってない	●PTOと車速を合わせる	17
	●PTO回転速度が高すぎる	●PTO回転速度300～350min ⁻¹ (rpm)に合わせる	17

付 表

1. 主要諸元

品 名		ロータリテッダ	
型 式		R T 2 6 1 0	R T 3 1 1 0
装 着 方 法		3点リンク直装式 (カテゴリO I)	3点リンク直装式 (カテゴリO I・II)
駆 動 方 法		トラクタ P T O 駆動	
機 体 寸 法	全 長 (mm)	2 5 3 0 (集草時)	2 9 0 0 (集草時)
	全 幅 (mm)	2 7 0 0	3 4 0 0
	全 高 (mm)	1 3 1 0	1 4 8 0
質 量 (kg)		2 1 0	2 6 5
作 業 幅 (cm)		2 7 0 0	3 3 5 0
作 業 速 度 (km/h)		反転・拡散 集草	8~10 5~7
作業能率 (分/10a)		3~8	2~7
タ イ ヤ サ イ ズ		13×6.00-6 4PR	
適応馬力 (kW{ps})		14.7~33.1 (20~45)	22.1~36.8 (30~50)

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

部 品 名 称	部 品 コ ー ド	備 考
ヒダリタイン	2 7 1 0 1 4 5 5 1 0 0 0	
ミギタイン	2 7 1 0 1 4 6 5 1 0 0 0	